

勤 労 者 家 庭 の 消 費 生 活
水 準 に 関 す る 意 識 調 査

—昭和41年調査結果報告書—

1966年

労働省婦人少年局

は し が き

労働省婦人少年局では、かねて労働者家族福祉の見地から労働者家族問題の所在と福祉対策についての研究をすゝめていますが、その一環として労働者家族の消費生活水準についての基本調査を1962年から5カ年におたり、実施してきました。

調査5年目にあたる今回1966年の調査は、老後および不時の出費の問題に重点をおいて実施しました。

この調査の結果が労働者家族福祉問題に関心をもたれる方々の参考になれば幸いと考えます。

調査の実施にあたつて各調査事業所ならびに対象者の方々の多大の御協力を得ましたことを深く感謝し、こゝに厚く御礼申し上げます。

昭和41年10月

労働省婦人少年局

目 次

	頁
調査実施要領	1
1. 調査目的	1
2. 調査時期	1
3. 調査対象	1
4. 調査対象者の選び方	1
5. 調査方法	1
6. 調査項目	1
調査世帯の概況	2
1. 世帯の種類	2
2. 家 計	3
✓ 3. 妻の就業	3
調査結果の要約	4
調 査 結 果	6
Ⅰ 財産所有状況	6
1. 不動産等の所有状況	6
2. 貯蓄の有無と目的	6
Ⅱ 不時のそなえ	6
1. 夫の収入途絶の有無とそのきりぬけ方	6
2. 不時の出費の有無とそのきりぬけ方	7
Ⅲ 退職後の生活設計	7
1. 定年制の有無	7
✓ 2. 退職後の生活準備	8
✓ 3. 夫の退職後の生活についての妻の不安	8
4. 住宅の準備状況	8

Ⅳ 老後についての意識	9
1. 何才からが老人か	9
2. 年とつてからも働いた方がよいか	9
3. 老後のくらしは何にたよるべきか	9
4. 子供といつしよにくらしたいか	10
5. 退職後やりたいことの有無	10
6. 老後の生活についての意見	10
Ⅴ 夫の親の生活と扶養の状況	10
1. 誰とくらしているか	11
2. 誰が扶養しているか	11

統計・表 目 次

I 調査世帯の概況	頁
第1表 同居の家族数 (地域別・夫の年令別)	15
第2表 家族型 (地域別・夫の年令別)	15
第3表 子供の数 (夫の年令別)	16
第4表 住居の種類 (地域別・夫の年令別)	16
第5表 世帯収入 (地域別・規模別・職種別・夫の年令別・家族人数別)	17
第6表 世帯収入の内容	18
第7表 経済的援助を受けているか (夫の年令別)	18
第8表 家計充足状況 (世帯収入階級別)	19
第9表 妻の就業 (職種別・妻の年代別・夫の賃金別)	20
II 財産所有状況	
第10表 不動産等の所有状況 (夫の年令別・世帯収入階級別)	21
第11表 貯蓄の有無 (世帯収入階級別)	22
第12表 貯蓄の目的 (夫の年令別)	23
第13表 不測の事故中一番心配される事故	23
III 不時のそなえ	
第14表 夫の収入がなくなつて困つた経験があるか — 妻 (規模別・職種別)	24
第15表 夫の収入途絶による生活のきりぬけ方 — 妻	24
第16表 こんご夫の収入がなくなつたらどうするか — 妻 (妻の年令別)	25
第17表 不意の出費で困つた経験はあるか — 妻 (規模別・職種別)	25

第18表	不意の出費の際、必要経費はどんな方法でまかなったか — 妻	26
------	-------------------------------	----

第19表	こんご不意の出費の必要がおこつたらどうするか — 妻	26
------	----------------------------	----

IV 退職後の生活設計

第20表	定年制の有無 (規模別) ……	27
------	-----------------	----

第21表	定年制の年限(定年制のある場合) (規模別) ……	27
------	---------------------------	----

第22表	退職時の年限(定年制のない、わからない場合) (規模別) ……	27
------	---------------------------------	----

第23表	退職後の生活はどうするか — 夫 (夫の年令別) ……	28
------	-----------------------------	----

第24表	夫の退職後の生活についての妻の不安 (規模別・妻の就業別) ……	29
------	----------------------------------	----

第25表	退職後に住む家の準備状況 (夫の年令別) ……	29
------	-------------------------	----

V 老後についての意識

第26表	何才からが老人か (夫と妻の年令別) ……	30
------	-----------------------	----

第27表	年をとつてからも働いた方がよいか — 夫(夫の年令別) ……	31
------	--------------------------------	----

第28表	子供といつしよに過ごしたいか (夫と妻の地域別・年令別・学歴別) ……	32
------	-------------------------------------	----

第29表	退職後やりたいことの有無 (夫と妻の年令別・学歴別) ……	34
------	-------------------------------	----

第30表	退職後にやりたいこと (夫と妻) ……	34
------	---------------------	----

第31表	老後のくらしは何にたよるべきか (夫と妻の地域別・年代別・学歴別) ……	35
------	--------------------------------------	----

第32表	老後の生活についての意見 (夫と妻) ……	35
------	-----------------------	----

VI 夫の親の生活と扶養の状況

第33表	夫の父の職業 (職種別) ……	36
------	-----------------	----

第34表	夫の両親の生存状況 (夫の年令別) ……	36
------	----------------------	----

第35表	親の収入の有無および種類 (夫の父の職業別) ……	37
------	---------------------------	----

第36表	親は誰とくらしているか (親の収入の有無別・親の生存の内訳別) ……	37
------	------------------------------------	----

第37表	同居の親の扶養および他からの仕送りの状況 (夫の年令別・他からの仕送りの有無別) ……	38
------	---	----

第38表	別居している親へ仕送りをしているか (夫の年令別) ……	38
------	------------------------------	----

調査実施要領

1. 調査目的

勤労者家庭の消費生活の実態と意識を把握することを目的とし、本年は老後および不時の出費の問題に重点をおいて実施した。

2. 調査時期

昭和41年6月

3. 調査対象

全国規模30人以上の事業所に働く常用男子労働者3,000人及びその妻3,000人。但し集計は夫、妻そろつて回収された2,752組について行なつた。

事業所数は20ヵ所である。

4. 調査対象者の選び方

- (1) 事業所は昭和38年事業所統計台帳にもとづき、全国の事業所規模別常用男子労働者数に対応するように、無作為抽出。
- (2) 勤労者世帯は、調査実施事業所の労働者名簿から有配偶男子労働者を無作為抽出。

5. 調査方法

調査対象者自身の記入による。

6. 調査項目

家族の状況、就業状況、家計、扶養状況、不時のそなえ、退職後の生活設計、老後の生活に関する意識等

調査世帯の概況

1. 世帯の種類

地域別

総 数	7大都市	その他の地域
100%	35.9%	64.1%

事業所規模別

総 数	大(500人以上)	中(100人~499人)	小(30人~99人)
100%	30.1%	33.7%	36.2%

夫の職種別

総 数	生産労働者	職 員 等	不 明
100%	40.4%	58.5%	1.1%

年齢別

	総 数	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	不 明
夫	100%	18.2%	43.5%	24.7%	10.4%	2.9%	0.3%
妻	100	34.0	38.5	19.9	6.3	0.9	0.4

家族数別

総 数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	平 均 家族数
100%	12.0%	22.3%	30.0%	18.7%	10.7%	4.0%	2.3%	4.15人

家族型別

総 数	基本家族	複合家族
100%	71.9%	28.1%

住居の種類別

総 数	持 家	民営借家	公営借家	給与住宅	その他	不 明
100%	49.7%	20.4%	6.8%	19.6%	2.8%	0.7%

2. 家 計

世帯収入別

総 数	2万円未満	2万~3	3万~4	4万~5	5万~6	6万~7	7万~8
100%	1.3%	10.5%	27.9%	26.2%	16.0%	7.5%	4.0%

8万~9	9万~10	10万以上	不明
2.3%	1.1%	2.4%	0.8%

平均世帯収入 45,826円

(生産労働者 41,615円

職員等 48,749円)

家計充足感

総 数	十 分	なんとかまにあっている	不足がち	不 明
100%	8.1%	53.7%	37.4%	0.8%

3. 妻の就業

総 数	無 職	つとめている	内 職	自営業	その他	不 明
100%	55.1%	19.9%	16.6%	6.3%	1.3%	0.8%

調査結果の要約

1. 調査の対象となつた勤労者世帯のうち41%は家屋をもち、土地をもっている者も35%ある。定期預金をもつもの50%、株、債券等をもつ者22%で、生命・養老保険には73%の者が加入している。
2. 対象世帯の74%がいろいろの目的で貯蓄しているが、そのうち、もつとも多いのは「不測の事故にそなえて」のもの64%で、「子供の学費のため」47%、「家を建てるため」25%、「老後のため」は23%である。不測の事故として一番念頭におかれているのは「病気」であり、また実際に不時の出費で困つた経験としては家族の病気による場合がもつとも多い。
3. 夫の収入が途絶えたとき、6割の家庭は妻が働いたといつている。今後もしそのような場合には、「自分が働く」といつている妻が7割をこえており、親せきなどから援助をしてもらふという者は少ない。
4. 退職後の生活手段についての考え方を50才以上の夫についてみると、「またつとめる」希望のあるもの51%、「自分で事業をはじめる」というものが10%ある。しかし実際に就職のあてのあるものは就職希望者の35%、また事業をしたいもののうち、その準備をしているものは37%である。
子供の世話になるというものは僅かである。
5. 50才以上のもので、退職後に住む予定の家をすでにもっているものは53%、家を建てる計画のあるものが16%あるが、家を建てるあてのないものが15%ある。自分の家をもつと思わないものも3%ある。
6. 定年制のある事業場に働いているものは75%で、定年年令は55才～59才が多い。
7. 「としより」とみなされる年令は「60才以上」というものがほぼ半数を占め、65才以上が4割、70才以上が2割、60才未満を「と

しより」と思うものは例外的である。

8. 老後の生活のしかたとして、7割の夫は老後も経済的には困らなくても、「働いた方がよい」とのべている。
9. 老後といえども「自活出来るだけの経済力をもちたい」というものが、夫も妻も過半数を占め、「子どもさえしつかり育てれば心配ない」という考えのものは、1割でいどである。
10. 老後は子供と同居したいと思うものは、別居したいと思うものより、夫・妻とも、やや多いが、若い妻には別居希望者の方が多く、年輩の妻では同居を希望するものの方がはるかに多い。
11. 親が同居している世帯は23%で、その半数は親の生活費全部を、25%は生活費の一部をみている。きょうだいから親のために仕送りのあるものは少ない。

調 査 結 果

I 財産所有状況

1. 不動産等の所有状況

対象となつた勤労者世帯の不動産等の財産所有状況をみると、自分の家屋をもつものは4.1%、土地をもつものは3.5%、定期預金をもつものの5.0%、株、債券等2.2%で、火災等損害保険をかけるものは3.8%、生命・養老保険に加入するものは7.3%に上っている。これらの財産をもつものの割合は、一般に生産労働者よりも職員層に高く、土地、家屋の所有率は若い層よりも高年齢層に高い。

2. 貯蓄の有無と目的

対象世帯の7.4%は貯蓄をしている。毎月の収入から貯蓄するものは全体の5.7%で、その金額は月5,000円未満がもつとも多く、ボーナスなどの臨時収入から貯蓄するものは3.9%で、その額は1万円から7万円ていどのものが多い。

貯蓄の目的としては「不測の事故にそなえて」の貯蓄が、貯蓄をしている世帯全体の6.4%でもつとも多い。これについて「子供の教育費のため」4.7%、「家をたてるため」2.5%、「老後のため」2.3%となつている。老後にそなえるものは40才以上が多く、家をたてるために貯えるものは20代～30代の年齢層に比較的多い。

不測の事故としては「病気」が一番心配されている。

II 不時のそなえ

1. 夫の収入途絶の有無とそのきりぬけ方

夫の収入が途絶えて困つた経験のある妻は1.7%である。収入がなくなつた期間は2ヶ月から2年までの間が概して多いが、3年以上にわたつたものもある。このような経験のあるもの、とくに長期にわたつて収入がなくなつたことのあるものは、小規模事業場に働く者に多い。

収入が途絶えた原因は「夫の病気やけが」が半数、「失業」のためが3分の1ある。

夫の収入途絶の期間において、どのような方法で生活をきりぬけたかをみると、妻が働いたもの6.0%、貯金を使つたもの3.4%で、親類や知人からの借金2.5%、失業保険等の社会保険にたよつたもの2.2%となつている。妻が働いたというものの大部分は、勤めが内職で働いている。

今後夫の収入がなくなつた場合の対処方法については、7.4%の妻が「自分が働く」といつており、その他の方法をのべたものは少ない。9%の妻はどうしてよいかわからないといつている。

2. 不時の出費の有無とそのきりぬけ方

家族の病気やけが、不幸、災害などのため、不時の出費で困つたことがあるものは2.2%であるが、その過半数が家族の病気によるものである。どうした場合、どうしてきりぬけたかをみると、貯金を使つたものが4.3%、家計をきりつめたもの3.0%、借金したもの、夫のつとめ先より融資を受けたもの、それぞれ1.7%である。

今後の不時の出費の際には、やはり貯金を使うというものがもつとも多く4.7%、家計をきりつめるといふものが3.6%で、その他の方法をのべたものは少ない。どうしてよいかわからないという妻が1.1%ある。

III 退職後の生活設計

1. 定年制の有無

定年制のある事業場に働いているものは7.5%で、大規模事業場では9.5%が定年制を設けているが、規模が小さくなるほど定年制のあるものが少ない。

定年年令については55才～59才の間と答えたものが、定年制のある事業場に働くものの8.7%をしめ、60才以上は1.1%である。定年制のない事業場に働くものも、55才から64才までの間にやめなければならぬことを予想しているものが多いが、年令に制限なく働けるとい

うものは、小規模事業場に圧倒的に多い。

2. 退職後の生活準備

退職後の生活をどうするかについては、「再就職」したいというものが57%でもっとも多く、「自分で事業をはじめる」というもの、17%がこれに次ぐ。年令別にみると高年令ほど「再就職」を希望するものが多く、「事業をはじめる」というものはむしろ若い方に多い。

(40才以上では「再就職」50%、「事業」14%、50才以上ではそれぞれ51%、10%)

これらの希望をのべたもののうち、50才以上のものについてみると、再就職希望者の35%がすでに就職のあてをもっており、事業をしたいものの37%がその準備をしているが、40代では、それぞれ19%、14%とその割合が低い。

退職金、恩給、年金等を退職後の生活にあてるといふものは11%。(40才以上、50才以上ともに15%)

また、老後は子供の世話になるというものは6%であるが、高年令ほど多く、40才代7%、50才以上17%となつている。

3. 夫の退職後の生活についての妻の不安

約60%の妻が、夫の退職後の生活に多かれ少なかれ不安を感じている。すなわち、「いづらか不安」というものが43%、「非常に不安」というものが16%ある。年令別には差はみられないが、「非常に不安」というものは小規模事業場の世帯に多い。(21%)

一方「不安はない」といふ妻が19%あるが、これは妻自身が自営業に従事する者にとくに多くみられる。(29%)

4. 住宅の準備状況

退職後の住居として、すでに自分の家のあるもの(親から相続見込のものを含む)は43%であるが、高年令層にその割合が高い。(40才以上、50才以上ともに53%)

家を建てる資金を準備中、あるいは退職金で建てるつもりなど、将来家を建てる計画のあるものが28%(40才以上23%、50才以上16%)ある。

一方、家を建てるあてのないものやまだ考えていないというものが全体の21%あり、高年令ほどその割合は少ないが、40才以上でなお14%、50才以上で15%のものが家を建てるあてがない、まだ考えていない、といつている。

自分の家をもつと思わないものが全体の1%ある。

IV. 老後についての意識

1. 何才からが老人か

一般に何才から「としより」と思ふかという問に対して、「60才以上」と答えたものが夫44%、妻40%で一番多く、「65才以上」が夫27%、妻28%、「70才以上」といつたものは夫15%、妻19%である。60才未満を年よりと考えるものはきわめて少ない。(夫6%、妻4%)

2. 年とつてからも働いた方がよいか(夫)

くらすには困らなくとも、老後も「働ける間は働いた方がよい」という意見が67%、老後は「できればのんびりくらしたい」というものは31%である。年令別には若干の差がみられ、「働いた方がよい」というものの比率は高年令のものに高く、一方「のんびりくらしたい」というものは若い層に比較的多い。(20代~30代で、「働いた方がよい」63%、「のんびりくらしたい」35%、40代以上「働いた方がよい」71%、「のんびりくらしたい」25%)

3. 老後のくらしは何にたよるべきか

夫の53%、妻の55%が、老後といえども自活するだけの「経済力が必要」と考えており、「子供さえしつかり育てれば経済力は必要ない」と考えるものは、夫10%、妻13%で少なく、むしろ「老後の生活は社

会保障で」といふものが、夫21%、妻13%と子供への期待を上廻っている。「経済力が必要」といふものは若い年令層及び大都市に多く、「子供さえ育てれば」といふものは高年令層と大都市以外の地域に多い。社会保障の必要を答えたものについては、年令別にも地域別にも差はみられない。

4 子供といつしよにくらいたいか

「老後は子供と同居したい」と思うものは夫33%、妻32%で、そのうち「ぜひ同居したい」といふものは、夫・妻とも10%である。「別にくらいした方がよい」といふものは夫27%、妻29%で、全体としては同居希望者より少なく、「どちらでもよい」あるいは「何ともいえない」ものが夫23%、妻21%となつてゐる。同居をのぞむものは大都市以外の地域と高年令層に多く、別居をのぞむものは大都市と若い層に多い。とくに妻においてはその差が顕著である。(20代～30代の妻は同居希望28%、別居希望31%、40才以上の妻は同居45%、別居24%)

5 退職後やりたいことの有無

年令層をとわず約40%の夫と妻が、老後にしたいこと(仕事としてではなく)をもつており、やりたいものゝ内容は趣味的なものが半数以上で、特に、妻がしたいことにはそのようなものが多い。

自分の勉強や社会に奉仕する仕事をしたいといふものは夫に13%、妻に8%みられる。

6 老後の生活についての意見

定年退職後あるいは老後の生活についての自由な回答の中で多数の意見が出されているが、一般的傾向としては、広く老人の生活保障について述べており、同時に人間関係のあたゝかい心づかいの必要性をあげている。

V 夫の親の生活と扶養の状況について

(親の職業)夫の父親の職業(死亡した親も含み、父親の一生を通じての主な職業)についてみると、雇用者35%、自営業55%(うち農業30%、商業13%)という分布がみられる。これを調査対象者自身の職種別にみると、生産労働者には農業に従事した親をもつものが多く(39%)、職員層には、雇用者または商業を営んだ親をもつものが比較的多くみられる。(38%、16%)

(親の生存状況) 夫の親が父母とも生存するものは対象者全体の35%であるが、母のみ生存するものは30%、父のみは8%である。これらの親の生活状況をみた結果は次の通りである。

1 誰とくらしているか

対象者自身又は対象者のきょうだいとくらしている親が大部分である。親だけでゐるもの15%は、父母とも生存のものや、親自身に自活できるだけの収入のある者に多い。

2 誰が扶養しているか

対象世帯のうち、夫の親と同居しているものは23%である。親と同居しているもののうち、17%は親の生活について「経済的にはみていない」といふものであるが、46%(全対象世帯の11%)は「親の生活費全部」をみており、「生活費の一部」をみているものが25%、「こずかい」をあげる程度のものが8%ある。親の生活費全部をみている世帯は40代の夫の世帯にもつとも多い。(全世帯の19%)

親と同居しているもののうち、自分のきょうだい等から親のために仕送りをうけているものは8%にすぎず、また親と離れて暮している世帯のうち、親に仕送りをしているものは10%で、その金額は5,000円未満が過半数である。

統計表

I 調査世帯の概況

第1表 同居の家族数（地域別・夫の年令別）

総 数		家 族 数								平均家族数	
		実 数	%	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人		8人以上
計		2,752	100	12.0	22.3	30.0	18.7	10.7	4.0	2.3	41.5
地 域	7 大 都 市	989	100	1.62	2.61	3.01	15.6	9.3	1.3	1.2	38.5
	そ の 他	1,763	100	9.6	2.02	3.00	28.4	11.5	5.4	2.9	43.2
夫 の 年 令	20 代	500	100	3.2	3.60	1.36	8.0	5.8	3.2	1.4	33.5
	30 代	1,199	100	9.0	22.8	3.79	15.2	9.5	5.1	2.5	41.2
	40 代	679	100	7	12.8	3.13	28.0	15.6	6.2	2.4	46.7
	50 代	287	100	7.5	19.9	2.37	30.0	13.2	3.8	2.1	44.2
	60 代以上	80	100	18.8	18.8	23.6	20.0	8.8	5.0	5.0	41.6
不 明	7	100	—	42.9	62.8	—	14.3	—	—	—	38.6

第2表 家族型（地域別・夫の年令別）

地域	総 数		基 本 家 族			複 合 家 族	
	実 数	%	夫婦だけ	夫婦と子供		夫婦、子供 その他の家族	夫婦と子供 以外の家族
計	2,752	100	1,209	599		2,134	689
7大都市	989	100	1.64	6.14		1.61	6.1
その他の地域	1,763	100	9.6	5.90		2.62	7.2
20代	500	100	3.24	4.06		1.60	1.40
30代	1,199	100	9.2	6.19		2.29	6.0
40代	679	100	5.5	6.43		2.61	4.1
50代	287	100	7.0	7.35		1.50	4.5
60代以上	80	100	1.88	6.13		1.58	6.3
不明	7	100	—	8.57		1.42	—

第3表 子どもの数（夫の年齢別）

	総数		なし	あり	子 供					不 明
	実数	%			1人	2人	3人	4人	5人以上	
計	2,752	100	14.5%	85.4%	27.0%	34.7%	15.9%	4.5%	3.3%	0.1%
20代	500	100	45.0	55.0	44.0	10.4	0.6	—	—	—
30代	1,199	100	11.3	88.6	30.9	46.2	10.4	0.8	0.3	0.1
40代	679	100	4.0	95.9	14.4	39.3	29.9	8.6	3.5	0.1
50代	287	100	2.8	97.2	13.9	23.3	30.1	15.0	14.6	—
60代以上	80	100	2.5	96.3	12.5	18.8	25.0	13.8	26.2	1.2
不明	7	100	—	85.7	42.9	42.8	—	—	—	14.3

第4表 住居の種類（地域別・夫の年齢別）

	総数		持家	民営借家(間)	公営・公賃借家(間)	給与住宅(社宅)	その他	不 明
	実数	%						
計	2,752	100	49.7%	20.4%	6.8%	12.6%	2.8%	0.7%
7大都市	989	100	32.3	26.7	9.9	19.9	3.7	0.5
その他	1,763	100	55.6	16.8	5.1	19.5	2.3	0.7
20代	500	100	31.8	30.0	7.4	26.0	4.0	0.8
30代	1,199	100	45.9	21.9	7.9	20.5	3.2	0.8
40代	679	100	61.2	13.1	5.3	17.8	2.2	0.4
50代	287	100	64.9	15.3	5.2	13.9	0.7	—
60代以上	80	100	64.8	16.3	6.3	6.3	3.8	2.5
不明	7	100	57.1	42.9	—	—	—	—

第5表 世帯収入（地域別・規模別・職種別・夫の年齢別・家族人数別）

	総数		2万円未満	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10万円以上	不明	平均世帯収入
	実数	%												
計	2,752	100	13%	10.5%	27.9%	26.2%	16.0%	7.5%	4.0%	2.3%	1.1%	2.4%	0.8%	45,825円
7大都市	987	100	—	5.9	26.7	28.8	17.8	8.6	3.8	2.6	1.7	3.1	1.0	48,899
その他	1,765	100	2.0	13.2	28.6	24.9	15.0	6.9	4.0	2.0	0.8	2.0	0.6	44,109
30~49人	995	100	1.9	12.6	28.5	26.2	14.4	5.6	3.5	2.2	1.2	2.7	1.2	44,217
100~499人	928	100	1.2	10.2	29.0	25.9	15.3	6.9	4.7	2.4	1.1	2.3	1.0	46,048
500人以上	829	100	0.6	8.4	25.9	26.6	18.8	10.5	5.6	2.2	1.1	2.3	—	47,487
生産労働者	1,111	100	2.3	14.2	32.2	24.1	14.9	5.9	2.3	1.3	0.6	1.2	1.0	41,615
職 員	1,611	100	0.4	8.1	25.4	27.2	16.8	8.7	5.2	2.9	1.5	3.4	0.4	48,749
不 明	30	100	6.7	6.7	6.7	46.6	16.7	3.3	—	3.3	—	—	10.0	43,700
20代	500	100	2.0	22.6	33.4	24.2	8.8	3.6	2.4	0.8	0.4	1.4	0.4	38,955
30代	1,199	100	1.3	9.2	32.6	28.8	14.4	6.3	2.9	1.5	0.8	1.8	0.6	44,502
40代	679	100	0.1	5.0	20.0	27.0	21.6	12.1	5.9	3.4	1.5	2.2	1.2	50,022
50代	287	100	1.7	6.6	17.8	20.9	21.6	9.1	5.9	5.6	2.8	7.3	0.7	53,794
60代以上	80	100	3.8	16.3	27.2	13.8	16.3	5.0	6.3	5.0	2.5	2.5	1.3	44,749
不明	7	100	—	14.3	14.3	14.3	28.5	14.3	—	—	—	—	14.3	45,667
2人	329	100	1.8	16.7	32.2	27.7	12.8	4.3	2.4	—	—	0.9	1.2	41,436
3人	615	100	1.8	17.2	33.0	26.0	11.1	4.9	2.1	0.5	0.8	1.1	1.5	40,439
4人	826	100	1.0	6.9	30.9	26.8	18.4	8.0	3.8	1.5	1.1	1.6	—	45,267
5人	514	100	0.8	6.0	20.6	27.1	16.9	12.3	5.8	4.3	2.1	2.9	1.2	50,197
6人	295	100	1.4	8.1	20.7	27.1	12.3	7.5	5.1	4.4	0.7	5.4	0.3	49,675
7人	110	100	0.9	8.2	20.0	20.0	20.0	9.1	8.2	4.5	1.6	6.4	0.9	52,804
8人以上	63	100	1.6	12.7	20.3	12.7	20.6	3.2	4.8	1.1	3.2	9.5	—	62,333

第6表 世帯収入の内容

総数	夫の給料		夫の副業収入を含む	妻の収入を含む	その他の家族の給料を含む	その他の家族の収入を含む	自営業収入を含む	財産収入を含む	その他の収入を含む	不明
	実数	%								
計	2,752	100	97.3%	1.8%	34.6%	11.1%	1.5%	2.5%	1.5%	1.4%

注) 多答のため計は100%をとえる。

第7表 経済的援助をうけているか (夫の年令別)

	総数	うけていない		うけている	だれからうけているか								不明
		実数	%		自分の父	自分の母	自分のきょうだい	妻の父	妻のきょうだい	息子	娘	その他	
計	2,752	100	90.5%	62%	33%	0.5%	0.9%	0.1%	0.7%	0.5%	0.9%	3.3%	3.3%
20代	500	100	89.6	80	60	0.6	1.4	—	—	—	0.4	2.4	2.4
30代	1,199	100	91.9	58	41	0.6	1.3	0.3	—	—	0.6	2.3	2.3
40代	679	100	90.9	44	15	0.6	0.6	—	0.3	0.6	1.5	4.7	4.7
50代	287	100	88.9	23	—	—	—	—	3.1	2.5	1.7	3.8	3.8
60代以上	80	100	60.0	112	—	—	—	—	10.0	2.5	1.3	8.8	8.8
不明	7	100	71.4	143	—	—	—	—	—	—	—	14.3	14.3

注) 「だれから……」は多答のため「うけている」をとえる。

第8表 家計元足状況 (世帯収入階級別)

世帯収入階級	総数		+	分	なんとかまにあっている	不足がら	不明
	実数	%					
計	2,752	100	8.1%	—	53.7%	37.4%	0.8%
2万円未満	35	100	—	—	20.0%	80.0%	—
2~3	290	100	2.8%	—	32.8%	62.7%	1.7%
3~4	768	100	1.3%	—	47.7%	49.6%	1.4%
4~5	721	100	7.9%	—	56.6%	35.1%	0.4%
5~6	441	100	10.0%	—	63.7%	26.1%	0.2%
6~7	207	100	13.0%	—	67.6%	18.4%	1.0%
7~8	109	100	2.6%	—	63.3%	10.1%	—
8~9	62	100	30.6%	—	54.9%	14.3%	—
9~10	31	100	25.8%	—	71.0%	3.2%	—
10万円以上	67	100	51.3%	—	59.7%	9.0%	—
不明	21	100	4.8%	—	66.6%	23.8%	4.8%

第9表 妻の就業（職種別、妻の年齢別、夫の賃金別）

		総 数		無 職	つとめている	内 職	自営業（自分が 業主、手伝等）	その他、不明
		実 数	%					
計		2,752	100	55.1%	1,99%	1,66%	6.3%	2.1%
職 種	生産労働者	1,111	100	46.8	23.7	20.3	6.9	2.3
	職 員	1,611	100	60.5	17.3	14.3	6.0	1.9
妻 の 年 令	不 明	30	100	56.7	23.3	6.7	3.3	10.0
	20 代	935	100	63.9	21.6	9.5	4.0	1.0
妻 の 年 令	30 代	1,059	100	51.3	19.8	20.6	5.9	2.4
	40 代	548	100	44.3	19.3	23.0	10.7	2.7
妻 の 年 令	50 代	173	100	60.1	16.8	11.0	8.7	3.4
	60 代以上	26	100	92.3	—	7.7	—	—
不 明	不 明	11	100	27.3	18.2	36.3	—	18.2
	2 万円未満	92	100	47.8	27.2	13.0	10.9	1.1
夫 の 賃 金	2 ～ 3	635	100	43.0	32.4	12.8	10.4	1.4
	3 ～ 4	985	100	52.5	20.0	19.5	5.4	2.6
夫 の 賃 金	4 ～ 5	586	100	60.3	14.7	19.1	4.4	1.5
	5 ～ 6	279	100	67.7	9.3	16.1	4.8	2.1
夫 の 賃 金	6 ～ 7	95	100	79.9	6.3	9.5	1.1	3.2
	7 万円以上	59	100	84.7	1.7	8.5	3.4	1.7
不 明	不 明	21	100	52.5	9.5	9.5	9.5	19.0

1201

II 財 産 所 有 状 況

第10表 不動産等の所有状況（夫の年齢別・世帯収入階級別）

	総 数		土 地	家 屋	定期（積立） 預 金	株 債 券、信託	生 命 養老保険	火災、その他 損害保険	不 明
	実 数	%							
計	2,752	100	35.4%	40.6%	50.3%	21.9%	73.1%	38.8%	5.6%
夫の年齢	20代	500	19.0	20.4	54.6	18.0	65.8	26.4	7.6
	30代	1,199	31.0	37.0	50.9	22.7	77.9	57.6	5.2
	40代	679	49.9	54.2	49.3	24.3	74.7	48.0	5.3
	50代	287	46.3	55.1	46.0	19.9	66.9	42.2	4.9
	60代以上	80	40.0	51.3	41.3	22.5	56.3	42.5	6.3
	不明	7	42.9	42.9	28.6	14.3	57.1	71.4	—
世帯収入階級	2万円未満	35	28.6	31.4	22.9	—	34.3	14.3	28.6
	2～3	290	29.0	30.3	37.9	8.6	59.3	23.4	13.8
	3～4	768	28.3	34.8	45.7	14.5	71.1	29.6	6.4
	4～5	721	34.5	38.1	49.4	22.5	74.1	32.4	4.9
	5～6	441	39.9	46.0	51.5	26.8	78.7	48.1	2.3
	6～7	207	46.4	55.1	65.7	36.7	79.7	48.8	2.4
	7～8	109	43.1	52.3	69.7	32.4	83.5	58.7	1.8
	8～9	62	61.3	64.5	69.4	38.7	80.6	59.7	1.6
	9～10	31	58.1	54.8	74.2	45.2	90.3	67.7	—
	10万円以上	67	50.7	59.7	65.7	41.8	82.1	64.2	—
	不明	21	23.8	19.0	52.4	9.5	52.4	33.3	14.3

注) 多倍のため計は100%をこえる。

1211

第11表 貯蓄の有無（世帯収入階級別）

	総 数		貯蓄して いる	ど ん な 方 法 で			貯蓄して いない	不 明
	実 数	%		毎月の収入か ら	ボーナスなど 臨時収入から	そ の 他		
計	2,752	100	73.9%	56.9%	39.3%	3.4%	23.1%	3.0%
世 帯 収 入 階 級	2万円未満	55	100	25.7	11.4	2.9	42.8	2.9
	2～3	290	100	32.8	23.1	3.8	42.4	9.0
	3～4	768	100	51.6	37.2	2.7	27.0	2.9
	4～5	721	100	57.7	36.8	3.5	23.0	2.2
	5～6	441	100	65.8	46.5	3.5	16.1	1.6
	6～7	207	100	71.4	49.8	2.4	12.1	1.9
	7～8	109	100	78.9	49.5	4.6	9.2	—
	8～9	62	100	74.2	66.1	1.6	6.5	1.6
	9～10	31	100	67.7	61.3	3.2	3.2	—
	10万円以上	67	100	85.1	49.3	4.5	4.5	1.5
不 明	21	100	57.2	19.0	23.8	23.8	23.8	19.0

注)「どんな方法で」は多答のため、「貯蓄している」をこえる。

第12表 貯蓄の目的（夫の年令別）

	貯蓄をしている人総数		不測の事故 にそなえて	家を建てる ため	子どもの学 資のため	老後のため	定まった日 的はない	そ の 他	不 明
	実 数	%							
計	2,033	100	64.4%	25.4%	46.8%	23.2%	10.7%	2.8%	0.7%
夫 の 年 令	20代	362	100	32.0	34.3%	8.3	16.3	4.1	1.4
	30代	921	100	26.9	50.9	22.4	10.7	2.0	0.3
	40代	500	100	23.2	56.6	29.0	6.8	2.8	0.6
	50代	206	100	17.0	33.5	35.9	8.7	3.4	1.0
	60代以上	38	100	2.6	15.8	39.5	18.4	7.9	5.3
不 明	6	100	100.0	—	16.7	16.7	—	—	—

注) 多答のため計は100%をこえる。

第13表 不測の事故中一番心配される事故

計	失業	けが	病 気	わからない	そ の 他	不 明
100%	7.5%	75.2%	77.3%	3.8%	2.1%	6.9%

注) 多答のため計は100%をこえる。

Ⅲ 不 時 の そ な え

第 14 表 夫の収入がなくなつて困つた経験があるか ― 妻 (規模別・職種別)

	総 数		あ る	な い	不 明	経 験 あ る 期 間				不 明		
	実数	%				2月未満	2～6月	6月～1年	1～2年		2～3年	3年以上
計	2752	100	17.1%	81.7%	1.2%	1.5%	4.1%	2.8%	3.5%	1.3%	2.0%	1.7%
規模												
30～99人	995	100	22.5	76.4	1.5	2.8	5.5	2.7	4.9	2.1	2.6	1.7
100～499人	928	100	18.2	80.5	1.3	0.9	3.3	4.6	3.2	1.6	2.7	1.9
500人以上	829	100	9.5	89.5	1.0	0.7	2.8	1.1	2.2	0.7	0.6	1.4
職種												
生産労働者	1111	100	21.8	74.5	1.7	1.8	6.0	4.2	3.7	1.6	2.6	1.9
職 員 等	1611	100	13.6	85.6	0.8	1.2	2.5	1.9	3.5	1.5	1.6	1.4
不 明	30	100	30.0	66.7	3.3	1.00	3.3	—	—	—	3.3	13.4

(注) 収入がなくなつて困つた経験があるものの理由
夫が病氣・けがで働けなかつた(51.7%)、夫が失業した(33.6%)等。

第 15 表 夫の収入途絶による生活の切りぬけ方 ― 妻

収入途絶になつた人の総数	実 数	%	自分が働いた	貯金を使つた	借金した	失業保険など社会保険にたよつた	親せきなどから援助を受けた	財産を処分した	家族が働いた	その他	不 明
計	4,70	100	60.9%	5.40%	2.49%	21.7%	11.9%	6.8%	4.0%	1.1%	4.5%

(注) 多客のため計は100.0%をこえる。
(注) 自分が働いたもの、内訳...つとめた(25.1%)、内職した(22.1%)、商売した(2.6%)等。
借金したものの内訳...妻の親、きようだい(11.5%)、夫の親、きようだい(6.4%)、知人(3.2%)等。

第 16 表 こんご夫の収入がなくなつたらどうするか ― 妻 (妻の年令)

	総 実数	数 %	自分が働く	預貯金をつかう	家族のものが働く	失業保険など社会保険にたよる	財産を処分する	親せきなどから援助してもらふ	親せき、知人から借金をする	どうしてよいかわからない	その他 不明
計	2,752	100	73.9%	12.6%	8.0%	6.8%	2.3%	1.4%	0.8%	9.0%	5.9%
20代	935	100	79.0	12.9	1.0	6.0	1.2	1.2	0.6	8.7	2.6
30代	1,059	100	80.5	10.4	3.3	6.1	2.1	1.9	1.1	9.1	3.0
40代	548	100	67.5	10.7	20.3	8.0	3.8	1.1	0.2	8.9	4.2
50代	173	100	37.6	19.7	21.8	10.4	4.6	—	1.2	11.6	11.5
60代以上	26	100	3.8	23.1	23.1	19.2	7.7	—	3.8	3.8	26.9
不 明	11	100	54.5	9.1	—	—	—	9.1	—	18.2	18.2

(注) 多客のため計は100.0%をこえる。

第 17 表 不意の出費で困つた経験があるか ― 妻 (規模別・職種別)

	総 実数	数 %	あ る	な い	不 明
計	2,752	100	22.0%	74.0%	4.0%
規模					
30～99人	995	100	24.9	71.2	3.9
100～499人	928	100	22.0	73.0	5.0
500人以上	829	100	18.6	78.5	2.9
職種					
生産労働者	1,111	100	26.0	69.7	4.3
職 員 等	1,611	100	19.2	77.1	3.7
不 明	30	100	26.7	66.6	6.7

(注) 不意の出費で困つたことのある人の内訳
○ 家族が病氣・けがをした 61.9%
○ 家族に不幸があつた 15.2%
○ 火事・水害などの災害 10.4%
○ その他及び不明 13.5%

第18表 不意の出費の際、必要経費をどうした方法でまかしたか — 妻

不意の出費で困ったことのある人の総数		実数	%	預貯金をつかつた	家計をきりつめた	親せき、知人から借金をした	夫のつとめ先から融資をうけた	親せきや援助者から援助してもらった	財産を処分した	その他	不明
計	600	100		42.7%	50.4%	17.5%	17.0%	12.7%	4.3%	4.6%	1.7%

注) 多答のため計は100%をこえる。

第19表 不意の出費の際、必要経費をどうした方法でまかしたか — 妻

不意の出費で困ったことのある人の総数		実数	%	預貯金をつかう	家計をきりつめる	つとめ先から融資をうける	親せきなどから借金をする	財産を処分する	親せきなどから援助してもらった	どうしてよいかわからない	その他
計	2752	100		46.8%	35.9%	8.8%	5.1%	4.7%	2.9%	11.4%	4.8%

注) 多答のため計は100%をこえる。

N 退職後の生活設計

第20表 定年制の有無 (規模別)

	総計	数		あ	な	い	わからない	無回答
		計	%					
計	2752	100		75.0%	19.1%		4.9%	1.0%
規模 30~99人	995	100		53.9%	35.6%		9.4%	1.1%
規模 100~499人	928	100		79.4%	15.2%		4.0%	1.4%
規模 500人以上	829	100		95.4%	3.7%		0.5%	0.4%

第21表 定年制の年限 (定年制のある場合) (規模別)

業 種	計	54才以下				55～59				60～64				65才以上				不 明		
		計	%	54才以下	55～59	60～64	65才以上	計	%	54才以下	55～59	60～64	65才以上	計	%	54才以下	55～59		60～64	65才以上
計	100			100	100	100	100	100		100	100	100	100	100		100	100	100	100	
規模 30～99人	100			100	100	100	100	100		100	100	100	100	100		100	100	100	100	
規模 100～499人	100			100	100	100	100	100		100	100	100	100	100		100	100	100	100	
規模 500人以上	100			100	100	100	100	100		100	100	100	100	100		100	100	100	100	

第22表 退職時の年限 (定年制のない、わからない場合) (規模別)

	計	慣行上、またはほぼ年限あり				慣行なし				不明
		54才以下	55~59	60~64	65才以上	54才以下	55~59	60~64	65才以上	
計	100									
規模 30~99人	100									
規模 100~499人	100									
規模 500人以上	100									

第23表 退職後の生活はどうするか ― 夫（夫の年令別）

	総 数		またつとめる			自分で事業をはじめる				
	実数	多	小 計	あてがある	あてがない	不 明	小 計	準 備 中	準備してない	不 明
計	2,752	100	3,679	64%	2,659	3.8%	1,669	3.1%	1,209	1.5%
20代	500	100	250	40	190	2.0	210	2.8	172	1.0
30代	1,199	100	304	25	246	3.3	171	3.6	118	1.7
40代	679	100	486	91	348	4.7	159	2.2	119	1.8
50代	287	100	547	188	321	3.8	125	4.5	73	0.7
60代以上	80	100	388	13.8	13.8	11.3	25	1.3	1.2	—
不 明	7	100	429	—	143	28.6	286	—	—	28.6

(つづき)

	退職金、恩給年金でくらす	家業をつくる	子供の世話になる	貯金、養老保険などでくらす	家賃など、不動産所得でくらす	妻がつとめる内職する	どうしてよいかわからない	まだ考えていない	その他
計	1,111名	5,9名	5,6名	4,9名	4,1名	1,1名	3,7名	3,52名	4,0名
20代	78	5,0	2,8	5,6	1,6	0,6	1,0	4,54	2,4
30代	9,6	6,6	2,9	5,1	4,3	0,4	4,8	4,20	3,1
40代	14,4	5,3	6,5	4,3	5,2	1,6	4,0	2,64	4,5
50代	14,3	6,6	11,8	4,5	5,6	3,5	3,8	1,71	5,6
60代以上	16,3	2,5	33,8	6,3	2,5	1,3	2,5	1,25	16,3
不明	—	—	—	—	—	—	—	14,3	14,3

注) 多答のため答は100%をこえる。

第24表 夫の退職後の生活についての妻の不安（規模別・妻の就業別）

	総 数		非常に不安 ひじょうにふあん	いくらか不安	不安はない	考えていない わからない	不 明
	実 数	%					
計	2,752	100	16.0%	43.2%	18.9%	19.8%	21.1%
規模	30～99人	995	21.0	39.1	17.3	19.8	2.8
	100～449人	928	15.9	42.3	20.5	19.4	1.9
	500人以上	829	10.0	49.5	18.9	20.3	1.3
無職		1,512	15.4	44.1	19.6	18.8	2.1
妻の就業	つとめている	549	12.9	41.9	15.3	22.0	2.9
	内 職	458	12.7	44.5	15.9	21.2	0.7
	自 営	174	10.9	38.6	29.3	19.5	1.7
	そ の 他	36	13.9	33.3	36.1	16.7	—
不明		23	17.4	56.6	4.3	8.7	13.0

第25表 退職後にすむ家の準備状況（夫の年令別）

	総 数		自分の家 がある	親などか ら相続す る	建 築 中	退職金な どでたて る	資 金 を 準 備 中	子 供 と 同 居 する	準備の方法 がない、先 のことだから 考えない	自分の家 を持つと思 われない	不 明
	実 数	多									
計	2,752	100	3,799	5.7%	1.5%	4.0%	22.9%	0.8%	21.2%	1.3%	4.7%
20代	500	100	212	9.0	1.4	5.0	3.02	—	27.8	1.8	3.6
30代	1,199	100	340	68	1.6	4.1	23.7	0.8	24.5	0.8	3.7
40代	679	100	491	41	1.8	3.8	21.9	0.1	13.7	0.7	4.8
50代	287	100	506	14	1.4	3.5	14.6	1.4	17.4	3.1	6.6
60代以上	80	100	523	—	—	—	1.3	10.0	8.8	3.8	18.8
不明	7	100	42.8	—	—	—	28.4	—	14.3	—	14.3

V 老後についての意識

第26表 何才からが老人か（夫と妻の年齢別）

	総 数		50才以上	55才以上	60才以上	65才以上	70才以上	人による	その他不明
	実 数	%							
計	2,752	100	1.9%	4.1%	4.40%	27.0%	14.8%	6.8%	1.4%
20代	500	100	3.6	6.8	45.8	23.0	10.8	9.2	0.8
30代	1,199	100	2.4	3.7	45.0	28.0	14.1	6.1	0.7
40代	679	100	0.9	3.7	44.0	28.6	14.7	6.2	1.9
50代	287	100	—	2.4	41.6	24.5	20.2	6.6	2.7
60代以上	80	100	—	2.5	25.0	26.3	29.9	8.8	7.5
不 明	7	100	—	14.3	42.8	14.3	14.3	—	14.3

計	2,752	100	1.0%	3.3%	40.1%	27.8%	18.6%	7.6%	1.6%
20代	935	100	1.6	4.2	43.7	26.3	15.9	8.0	0.3
30代	1,059	100	0.8	3.1	38.5	27.7	19.9	7.7	2.3
40代	548	100	0.5	3.5	40.0	28.6	19.0	7.1	1.5
50代	173	100	0.6	0.6	37.0	34.1	20.2	4.6	2.9
60代以上	26	100	—	—	11.5	30.8	42.4	11.5	3.8
不 明	11	100	—	—	27.3	27.3	18.2	9.0	18.2

130

第27表 年をとってからでも働いた方がよいか（夫の年齢別）

	総 数		働いた方がよい	出来ればのんびりくらいしたい	その他の不明
	実 数	%			
計	2,752	100	66.8%	30.7%	2.5%
20代	500	100	65.6	31.8	2.6
30代	1,199	100	63.0	35.7	1.3
40代	679	100	70.6	26.8	2.6
50代	287	100	75.0	20.9	4.1
60代以上	80	100	68.7	20.0	11.3
不 明	7	100	85.7	—	14.3

131

第28表 子供といつしよにくらしたいか (夫と妻の地域別・年齢別・学歴別)

	総数		別にくらす方がよい	なるべく同居したい	どちらでもよい	ぜひ同居したい	何ともいえない	まだ考えていない子供がない	その他不明		
	実数	%									
計			2,752	100	2,655	2,295	1,815	1,025	455	1,625	1.6
地域	7大都市	989	100	303	192	195	75	56	160	1.9	
	その他	1,763	100	2,46	2,49	1,73	118	39	162	1.3	
	20代	500	100	2,46	198	158	100	72	21,6	1.0	
	30代	1,199	100	2,60	204	214	71	51	18,7	1.3	
	40代	679	100	302	259	159	125	21	11,5	1.9	
学歴	30代	287	100	268	284	153	171	17	94	1.3	
	60代以上	80	100	188	298	138	163	88	75	5.0	
	不明	7	100	143	571	—	—	—	143	14.3	
学歴	小学、高小、新中	1,419	100	202	275	157	151	46	154	1.5	
	旧中、旧高女、新高	939	100	319	196	198	56	45	16,7	1.9	
	旧高、旧取、短大、大学	391	100	371	133	228	38	41	17,4	1.5	
不明	3	100	333	667	—	—	—	—	—	—	

計											
夫											
妻											
計			2,752	100	2,895	2,225	1,685	1,005	445	1,645	1,35
夫			989	100	334	185	164	66	55	180	1.6
妻			1,763	100	2,61	2,43	1,71	119	39	1,54	1.3
計			935	100	301	184	176	64	45	223	0.7
夫			1,059	100	313	212	169	93	44	154	1.5
妻			548	100	235	287	164	139	46	113	1.6
計			173	100	266	243	145	214	40	69	2.3
夫			26	100	192	386	115	115	38	154	—
妻			11	100	91	454	91	—	—	182	18.2

計											
夫											
妻											
計			1,485	100	224	264	151	140	44	163	1.4
夫			1,149	100	353	180	186	56	47	166	1.2
妻			108	100	480	93	213	19	28	139	2.8
計			10	100	300	100	200	—	—	300	10.0

第29表 退職後やりたいことの有無 (夫と妻の年齢別・学歴別)

夫												妻			
実数	数	あ	別にな い	わからな い、まだ 考えてい ない	不明	実数		あ	別にな い	わからな い、まだ 考えてい ない	不明				
						実数	%								
計															
年	20	代	2,752	100	3,915	4,075	3,65	2,752	100	3,845	3,295	3,85			
	30	代	500	100	394	458	16	935	100	389	399	11			
	40	代	1,199	100	375	458	22	1,059	100	409	326	3.7			
	50	代	679	100	419	358	52	548	100	347	270	6.4			
	60	代	287	100	387	265	73	173	100	347	203	6.8			
令	60	代以上	80	100	375	238	112	26	100	269	192	11.5			
	不明		7	100	429	428	143	11	100	273	—	45.4			
学	小	学	1,419	100	331	407	51	1,485	100	282	363	5.3			
	高	小	939	100	417	431	21	1,149	100	498	292	1.8			
	旧高	新	391	100	545	353	15	108	100	584	277	1.9			
	旧専	短大	3	100	353	—	354	10	100	500	100	20.0			
明	不明														

第30表 退職後にやりたいこと (夫と妻)

	ある人の総数		イ、 自分の勉強 研究	ロ、 自分の趣味	ハ、 社会に専仕 する仕事	ニ、 その他	明
	実数	%					
夫	1,076	100	18.2%	72.5%	18.8%	3.2%	5.2%
妻	1,058	100	5.7	100.0	12.4	4.3	2.6

注) 多答のため計は100%をこえる。

イ) 1) 自分 の勉強、研究	やりたいことの内容 (主なるもののみ)	
	ロ) 自分 の趣味	ハ) 社会に 専仕する 仕事
(夫)	外国語、 会計算、 建築、 読書、 自動車	身体障害者に奉仕、 児童の交通整理、 養護施設に奉仕、 社会事業、 町内の世話
(妻)	茶の湯、 洋生け、 花婿、 音楽	点訳、 身体不自由児の世話、 乳児院の手伝い、 保護司、 婦人会の世話
	書物、 芸道、 旅行	農、 内、 寮、 の、 世、 話、 ア、 ノ、 行
	園芸、 釣り、 旅行、 絵画、 音楽	二) その他 家族、 森の世話、 武芸指導、 親戚をいやす、 下宿業

第31表 老後のくらしは何にたよるべきか (夫と妻の地域別・年齢別・学歴別)

地域	年令	学歴	夫					妻								
			総 実数	数 %	経済力 が 必要	あった方が よいと思われ る	子供さえ しつかり 育てれば よい	老後の 生活は 社会保 険で	その他 不明	総 実数	数 %	経済力 が 必要	あった方が よいと思われ る	子供さえ しつかり 育てれば よい	老後の 生活は 社会保 険で	その他 不明
計			2,752	100	52.7%	12.9%	10.2%	20.8%	3.4%	2,752	100	54.7%	14.5%	12.7%	73.3%	4.8%
7大都市			989	100	57.5	10.6	7.4	21.5	3.0	989	100	60.1	14.4	8.2	12.7	4.6
その他の			1,763	100	50.1	14.1	11.8	20.4	3.6	1,763	100	51.6	14.3	13.3	13.6	4.9
20代			500	100	55.2	14.4	7.9	21.4	2.0	935	100	59.1	16.6	7.6	13.0	3.7
30代			1,199	100	54.8	13.8	7.4	21.1	2.9	1,059	100	57.2	13.9	12.7	11.9	4.3
40代			679	100	51.6	11.5	13.5	19.6	3.8	548	100	50.6	12.2	16.8	14.6	5.8
50代			287	100	47.7	10.5	16.7	20.2	4.9	173	100	36.5	15.0	26.0	15.6	6.9
60代以上			80	100	33.6	10.0	20.0	26.3	10.1	26	100	19.2	15.4	23.1	30.8	11.5
不明			7	100	42.8	14.3	14.3	14.3	14.3	11	100	18.2	—	18.2	18.2	45.4
小学、高小、			1,419	100	46.0	13.3	14.7	21.5	4.5	1,485	100	46.4	15.6	17.7	14.3	6.0
旧中、旧高、			939	100	56.8	14.0	5.6	21.2	2.4	1,149	100	63.4	13.5	7.2	12.4	3.5
旧高、旧専、			391	100	67.3	8.4	4.9	17.4	2.0	108	100	77.7	10.2	2.8	9.3	—
大学			3	100	—	33.4	33.3	33.3	—	10	100	50.0	20.0	10.0	—	20.0
不明			3	100	—	33.4	33.3	33.3	—	10	100	50.0	20.0	10.0	—	20.0

第32表 老後の生活についての意見 (夫、妻)

総 実数	数 %	年金な ど社会 保険を 充実さ せる	高年齢 者の雇 用促進 を	定年制 の延長 を	老人保 険の充 実を	何らか の形で 生活保 険を	退職金 の充 実を	退職金 制度を つくり 直す	退職金 の増額	老後の 生活制 度をも つめて ほしい	老人の健康 管理を (定期検 査、予防 接種、保 険制度)	家族の 介護を お願いし たい	老人に 精神的 慰安を 与えたい	その他 無回答
2,752	100	24.8%	7.2%	4.0%	1.7%	10%	0.9%	0.8%	0.8%	0.5%	0.4%	0.4%	0.5%	3.7%
2,752	100	11.6	2.7	4.1	0.5	0.0	0.3	0.5	0.2	0.4	0.2	0.3	0.3	1.5
														62.8%
														81.5

注) 多答のため計は100%をこえる。

Ⅵ 夫の親の生活と扶養の状況

第33表 夫の父の職業（職種別）

	総数		雇用者	自営業				その他	不明
	実数	%		小計	農業	商業	工業		
計	2,752	100	35.4%	54.8%	29.9%	13.2%	3.5%	4.8%	3.4%
生産労働者	1,111	100	52.2	56.6	38.7	9.4	1.9	2.8	3.8
職員等	1,611	100	37.7	53.6	24.2	15.8	4.6	5.9	3.1
不明	30	100	23.3	60.0	23.4	13.3	—	20.0	3.3

注) 「夫の父」には死亡した父も含む。

第34表 夫の両親の生存状況

	総数		生存				父母死亡	不明
	実数	%	父	母	父のみ	母のみ		
計	2,752	100	35.2%	61.4	7.6%	30.3%	25.5%	1.4%
20代	500	100	—	—	—	—	—	—
30代	1,199	100	—	—	—	—	—	—
40代	679	100	—	—	—	—	—	—
50代	287	100	—	—	—	—	—	—
60代以上	80	100	—	—	—	—	—	—
不明	7	100	—	—	—	—	—	—

第35表 親の収入の有無及び種類（夫の父の職業別）

	親のいる人数		収入はあ る	収入はな い	収入はなんによるものか				不明
	実数	%			親が働いて いる	恩給・年給 がある	財産収入が ある	その他 わからない	
計	2,012	100	41.2%	26.7%	46.0%	18.8%	8.9%	34.8%	3.7%
雇用者	789	100	38.5	29.4	41.6	29.4	8.5	33.2	1.9
自営業	1,079	100	44.8	24.9	51.7	11.0	9.4	33.7	3.7
その他	72	100	34.7	29.2	33.8	27.8	8.3	37.5	8.3
不明	72	100	22.2	20.8	20.8	9.7	6.9	66.7	19.4

第36表 親は誰とくらしているか（親の収入の有無別・親の生存の内訳別）

	親のいる人数		親だけでい る			同居			不明
	実数	%	実数	%	割合	対象者自身 と	対象者のき ょうだいで	その他 不明	
計	2,012	100	828	100	22.2	51.6%	49.4%	2.5%	1.9%
有親の収入あり	828	100	22.2	20.3	2.2	54.6	2.7	0.2	0.2
有親の収入なし	537	100	12.5	39.7	12.5	44.4	2.1	1.3	1.3
無親の収入あり	572	100	7.0	42.7	7.0	48.6	1.5	0.2	0.2
無親の収入なし	75	100	4.0	14.7	4.0	53.3	1.0	37.3	3.7
父の生存	979	100	18.5	29.4	18.5	48.2	2.6	1.3	1.3
母の生存	208	100	15.4	31.2	15.4	48.6	2.4	2.4	2.4
不明	825	100	9.8	34.3	9.8	51.1	2.4	2.4	2.4

第37表 同居の親の扶養および他からの仕送りの状況（夫の年令別・他からの仕送りの有無別）

	同居の親総数		経済的には みていない	生活費全部 みている	生活費一部 みている	こづかいを あげる程度	その他	不明
	実数	割合						
計	636	100	16.7	46.1	25.2	7.9	0.3	4.0
夫の年令	20代	118	32.2	20.3	35.5	5.9	—	5.1
	30代	294	19.4	40.1	27.6	9.2	0.3	3.4
	40代	182	4.4	68.7	15.9	6.0	—	5.0
	50代	40	5.0	62.5	17.5	12.5	—	2.5
	60代以上	2	0.0	50.0	—	—	—	—
他からの仕送りの有無	小計	50	18.0	38.0	32.0	12.0	—	—
	自分のきょうだい	48	18.7	35.5	33.3	12.5	—	—
	その他	2	—	100.0	—	—	—	—
	仕送りない	539	17.5	48.4	25.0	7.4	0.2	1.7
	仕送りあり	19	5.3	63.0	21.1	5.3	—	5.3
不明	28	10.0	10.7	3.6	17.9	10.7	—	57.1

第38表 別居している親へ仕送りしているか（夫の年令別）

	別居の親総数		定期的に仕 送りしている	どの程度仕送りしているか				仕送りして いない	不明	
	実数	多		5千円未満	5千～1万	1万以上	不明			
計	1,338	100	2.5%	6.4%	2.1%	0.5%	0.5%	12.2%	68.1%	10.2%
20代	363	100	5.8	4.1	1.1	0.6	—	12.4	73.5	8.3
30代	689	100	8.7	5.1	2.2	0.4	1.0	10.0	68.2	13.1
40代	236	100	16.1	12.7	2.1	1.3	—	16.9	61.1	5.9
50代	46	100	15.2	—	—	—	—	17.4	65.2	2.2
60代以上	3	100	33.3	—	33.3	—	—	—	33.3	33.3
不明	1	100	—	—	—	—	—	100.0	—	—

昭和41年10月1日 印刷
昭和41年10月7日 発行

勤労者家庭の消費生活水準に関する

意識調査

——昭和41年調査結果報告書——

発行所 労働省婦人少年局
東京都千代田区大手町1の7
印刷所 (有) 盛文社印刷所
東京都千代田区神田町2の17